

「備後就活仕掛け塾の開設」：取組の概要

福山大学が位置する**備後地域**は、広島県東部の一地方に過ぎないが、製造や流通関連の業界を代表するようなユニークで高い技術力や販売力を誇る企業が数多く存在する。これらの企業リーダーの多くは、厳しい競争を生き抜いた団塊世代であり、現代の若者にとって出会うべき価値ある**熟年者**でもある。一方、備後周辺出身者が主体の本学学生は、競争環境に揉まれることもなく、真面目ではあるが進取の気概に欠ける面がある。本取組では、貴重な先達の経験に裏打ちされた思想や理論を学生に開陳してもらい、学生に人生の指標を示すことを目標とする。この地元企業経営者とともに行う研究・教育活動の実施ならびに公開・交流促進には、利便性の高い「社会連携研究推進センター」という**福山駅前校舎**を活用する。

ここに就業力育成支援事業による**備後就活仕掛け塾**の開設を企画する。まず学生が厳しい就職戦線を勝ち抜くためには、基礎的学力を向上させることが重要であるが、それ以上に就職活動に向けた意識改革と経験豊富な熟年者との接触機会を増やすことにあると考える。これを塾開設の大きな目的とする。

次に、塾で企画される取組については、経済学部及び工学部の学生を対象とした二つの**セミナー**を設ける。前者を「**Eセミナー**」、後者を「**Tセミナー**」と名づけ、それぞれのセミナーの目的については、企業における

(a) Eセミナー：「総務」、「財務」及び「営業」の三つの業務

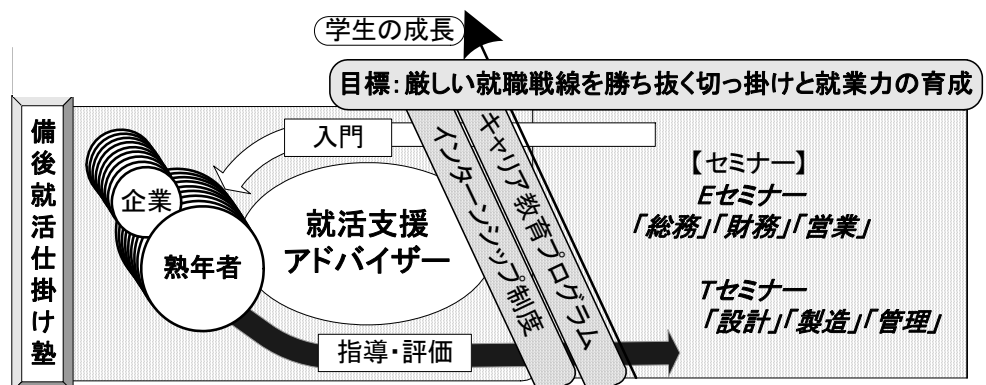
(b) Tセミナー：「設計」、「製造」及び「管理」におけるそれぞれの技術

の違いや企業が求めている人材像などを参加学生に理解させることである。学生による理解度の違いなどを考慮してA、B、Cの三段階能力別クラス分けを行い、少人数によるゼミ効果の向上を図る。また、「福山大学就業力推進室」を設け、**就活**支援アドバイザーによる個々の学生に応じた指導も行う。さらに、本取組では、1年間を三期から構成される期間とし、それらの期での塾生の受講・理解力評価も厳しく行い、**就業力の向上結果が得られること**を目指す。

本事業の取組を実施して行くことによって、ゼミでの活発な討論や試験などを経験し、学生間での競争環境が生まれ、就職への意欲が高まる。同時に熟年者との接触から、備後での堅実な企業への就職だけでなく、全国から世界にも進出する優良企業の就職へと発展し、本学の就職率が100%に到達することが期待できる。

今回の塾での取組と既存のキャリア教育関連との位置付けに関する概略図を以下に示す。この入塾者は、

就活支援アドバイザーなどによる指導・評価を受け、**厳しい就職戦線を勝ち抜く切っ掛けと就業力の育成が図れ、社会で活躍できる人材になること**が期待できる。



[本取組みの概念図]